

市内公共交通に関する状況

1 全体事業の概要

自主運行バス (コミュニティバス) <10人乗り乗用車>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の日常生活に必要な交通手段として、地域住民の福祉の増進や地域の活性化を促進するため運行している。 ・令和3年4月より、利便性向上を図るため、運行経路や時刻を改善して運行している。
デマンドタクシー <タクシー車両>	<ul style="list-style-type: none"> ・集落地域における地域住民の日常生活に必要な公共交通としてドア・ツー・ドア型を3地区で運行している。 ・また、路線バスの廃止等の代替手段として停留所型を3路線で運行している。
地域協働運行バス <乗用車> 浅羽東：10人乗り 三 川：5人乗り	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の日常生活に必要な交通手段として、市から車輛の貸与と事業委託を受けて、市内2地区で運行している。 ・運行は、地域組織である運行委員会が主体となり地域住民の意見を取り入れた運行を行っている。また、ドライバーも地域のボランティアが担っている。
路線バス(秋葉バス) <バス車両>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の基幹バス路線として、袋井駅を発着し南北に運行する秋葉線・秋葉中遠線のほか、袋井駅・中東遠総合医療センター線など5路線が運行している。

2 各事業の運行内容と利用者数

(1) 運行内容 (令和3年4月～)

	運行路線・地区	運行日・時間
自主運行バス	<ul style="list-style-type: none"> ・北部循環線 左回り 6便/日、右回り 5便/日 ・南部循環線 左回り 7便/日、右回り 6便/日 	平日のみ (年末年始除く) 7時台～16時台
デマンドタクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・ドア・ツー・ドア型…3地区 宇川地区、浅羽南地区、浅羽西地区の一部 ・停留所型…3路線 山梨・中東遠総合医療センター線 浅羽・中東遠総合医療センター線 法多線 	平日のみ (年末年始除く) 7時台～17時台 (運行路線・地区により異なる)

地域協働運行バス	・2地区 浅羽東地区「めだか号」 三川地区「かわせみ」	祝日・年末年始等を除く以下の曜日 8時台～17時台 【浅羽東地区】 火曜日～土曜日 【三川地区】 月曜日～土曜日
路線バス (秋葉バスサービス(株))	・5路線 秋葉線 秋葉中遠線 磐田線 今井線 袋井駅・中東遠総合医療センター線	【秋葉線・秋葉中遠線】 毎日 6時台～22時台 【磐田線】 平日のみ 6時台～20時台 【今井線】 袋井西小学校の開校日等 7時台～16時台 【袋井駅・中東遠総合医療センター線】 平日のみ 7時台～17時台

(2) 利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度※2
自主運行バス	18,684人	15,691人	12,087人
山梨・中東遠総合医療センター線 浅羽・中東遠総合医療センター線	2,945人	※1 1,038人	790人
デマンドタクシー	1,088人	3,570人	2,705人
地域協働運行バス	3,048人	3,070人	2,339人
秋葉バスサービス(株)	555,753人	580,174人	540,893人

※1 山梨・中東遠総合医療センター線と浅羽・中東遠総合医療センター線は、令和元年度よりデマンドタクシーに移行した。

※2 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症による外出抑制等により利用者数が減少している。

3 経費（年間）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度※4
自主運行バス (R2委託先：遠鉄アシスト(株))※1	29,235,258円 (1,565円/人)	33,835,624円 (2,156円/人)	33,289,608円 (2,754円/人)
山梨・中東遠総合医療センター線 浅羽・中東遠総合医療センター線 (R2委託先：遠鉄タクシー(株))	16,800,245円 (5,705円/人)	※2 2,661,710円 (2,564円/人)	1,264,500円 (1,601円/人)
デマンドタクシー (委託先：遠鉄タクシー(株))	1,455,290円 (1,338円/人)	4,460,956円 (1,250円/人)	3,682,870円 (1,362円/人)
地域協働運行バス (委託先：各地区運行委員会)※1	3,438,036円 (1,128円/人)	3,440,068円 (1,121円/人)	3,433,560円 (1,468円/人)
路線バスへの補助金 (補助事業者：秋葉バスサービス(株)、遠州鉄道(株))	56,095,000円 (101円/人)	52,628,000円 (91円/人)	※3 33,756,000円 (62円/人)

※1 自主運行バス（R1～）、地域協働運行バスの経費には、車両借上料を含む。

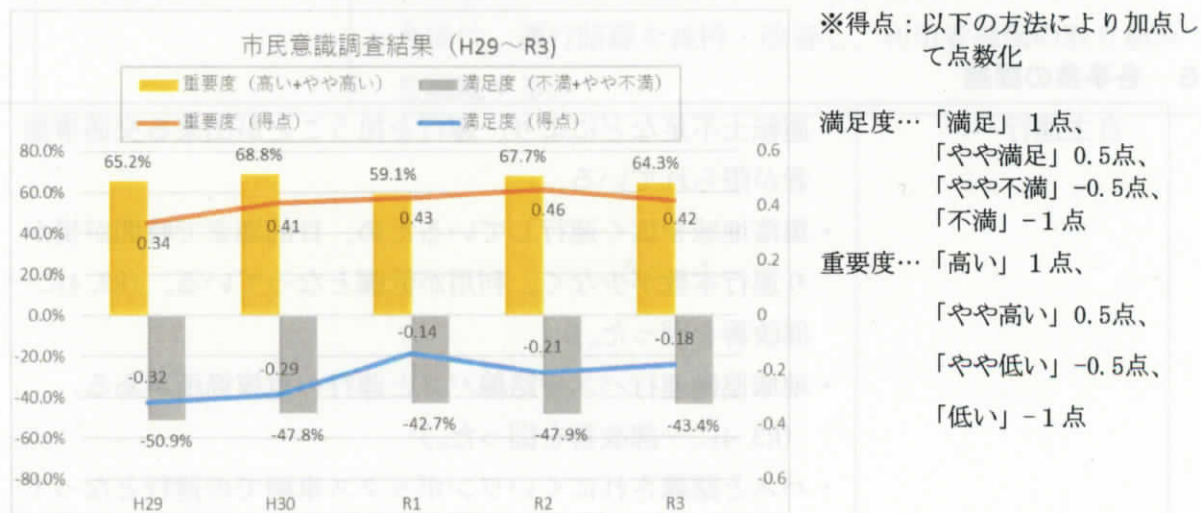
※2 山梨・中東遠総合医療センター線と浅羽・中東遠総合医療センター線は、令和元年度よりデマンドタクシーに移行した。

※3 路線バスへの補助金は、遠鉄バス路線の廃止により遠州鉄道(株)への補助がほぼ終了したため、令和2年度は減少した。

※4 令和2年度の自主運行バスと地域協働運行バスは、新型コロナウイルス感染症による利用者数減少のため、利用者一人当たりの運行経費が上昇した。

4 市民意識調査

袋井市のまちづくりに関する調査項目（第2次袋井市総合計画の取組の評価）において、公共交通施策を含む「誰もが移動しやすいまちづくり」の評価は、重要度は「高い・やや高い」が6割前後であるのに対し、満足度は「不満・やや不満」が4割を超えている状況であるが、わずかながら改善傾向である。



5 袋井市議会総務委員会からの政策提言への対応

平成30年9月に袋井市議会総務委員会より、「人口減少社会を見据えた地域公共交通のあり方」に関する政策提言書が提出されたことにより、本市の新たな公共交通施策として以下の取組みを進めた。

(1) 袋井市地域公共交通計画の策定

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、本市の公共交通を持続可能なものとし、市民の移動手段を確保するため、「袋井市地域公共交通計画」を令和3年3月に策定した。本計画に基づき、基本方針に沿った公共交通の具体的な事業内容を位置付けるとともに、適切な評価・検証方法について明確化した。

(2) 袋井市地域公共交通会議の活用

本市の公共交通に関して協議を行う「袋井市地域公共交通会議」委員に学識経験者として名古屋大学の加藤教授を選任したほか、袋井市議会総務委員長にも参画いただき、上記計画策定や公共交通施策に関して、幅広い視点からの意見を踏まえ協議を行っている。

(3) 民間路線バスの廃止や担い手不足などへの対応

利用者数の減少や深刻な運転士不足による相次ぐ民間路線バスの廃止や自主運行バスやデマンドタクシーの担い手事業者の確保が困難な状況の中、袋井駅を発着し市の基幹路線であるバス路線を確保するとともに、運行形態の変更や新たなエリアでのデマンドタクシーの導入などにより、交通空白地域を出さないよう公共交通を維持した。

また、一定規模の経費を維持する中で、利便性と効率化を考慮した交通体系の見直しを実施した。

6 各事業の課題

自主運行バス	<ul style="list-style-type: none">・運転士不足などにより、運行を担うことが出来る交通事業者が限られている。・集落地域を広く運行しているため、目的地まで時間が掛かり運行本数が少なく、利用が低調となっている。(R3.4に一部改善を図った。)・地域協働運行バスや路線バスと運行の重複箇所がある。(R3.4に一部改善を図った。)・バスと認識されにくいワンボックス車両での運行となっている。
--------	--

デマンドタクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者が限定されている。 ・事前予約（1時間前まで）や乗り継ぎが必要で不便な部分がある。
地域協働運行バス	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア運転士の確保が難しい。 ・ボランティア運転士の高齢化による安全面・継続性の面での懸念がある。
路線バス(秋葉バス)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の学生利用は多いが昼間の利用は少ない。 ・通学手段は自転車利用や送迎が多くバス利用は少ない。 ・待合い環境が整備されていない。

7 各移動手段の位置づけと今後の体系（地域公共交通計画より）

自主運行バス デマンドタクシー	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運行バスは、都市拠点や地域拠点と接続し、市内の広範囲を定額運賃により利用できる交通手段として運行している。 ・デマンドタクシーは、路線バスや自主運行バスが運行していない地域において需要に応じた運行をしている。 ・今後は、「地域主体による移動手段」の導入状況により運行区域の見直しを行い、利便性を高める。
地域協働運行バス	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域主体による移動手段」として、地域の移動特性に応じ、主に日中の高齢者の買い物や通院等の暮らしの足を確保するため、集落地域から市内主要施設へ運行している。 ・今後は、運行方法の見直しなど持続可能な運行方法を検討する。
路線バス(秋葉バス)	<ul style="list-style-type: none"> ・市南北軸の秋葉線・秋葉中遠線を基幹バス路線に位置付け、朝晩の通学・通勤手段として多く利用されている。 ・今後は、運行路線を維持・改善し、利用者確保の取り組みを継続する。